

次に、小グループに分かれてかるた取りをしました。

それは、鳥取県 男女協働未来創造本部 県民運動課が、自分では気がついていない無意識の思い込みや、自分は既に理解しており関係ないという無関心を解消するため、啓発ツールとして作成された『人生思い込みかるた』です。

その中から3枚を紹介し



「当たり前」はひとそれぞれ価値観です

「思い込み」大切なのは一人一人が気づくこと

みんなが言ってるからといって正しいとは限らない

ほんの10分間の時間設定だったので、かるた取りは枚数を減らしました。

その後、取った絵札の裏に書かれた解説を読んでもいただき、さらに言葉の意味を深く考えたり、身近な体験談を語り合ったりしました。どのグループも和やかな雰囲気、時折笑い声が聞こえたりしていました。

ちなみに、この3枚の絵札の裏に書かれている解説は次のとおりです。

あ 自分にとって当たり前と思っているものが、他者にとっては当たり前とは限りません。価値観の違いは「当たり前」と受け止めることが大切です。

お 「思い込み」は誰もが知らず知らずのうちに持っているもので、日常にあふれているものです。思い込みにより「決めつけていないだろうか?」と気づこうとすることが大切です。

み 学校や組織などでは集団の考えに疑問を持ちにくくなり、間違っているも正

当化したいという心理が働きます。状況を客観的に判断し、本当にそれが正しいの?と疑問をもつことが大切です。

グループトークに関する感想をご紹介します。

○かるた取りを通して自然と笑顔やひと言が出て、とてもよい構成だと思った。

○グループ別トークは、「例えば老人会と子ども会など、年代を超えたトークの場を持ち、お互いの考えを理解すべき」、「外国人の方との交流の場を県や市は開催すべき」などの話題で盛り上がった。



美和公民館の様子



久末公民館の様子



東雲山集会所の様子



雲山中央集会所の様子

小地域懇談会では、コロナ禍以降話し合いの時間を設けていなかったのですが、どのような反響があるか少し心配をしていましたが、次のようなご意見をいただきました。

○年に数回でも、一つのテーマを決めて各グループが議論し合う環境がもっとあれば、横のつながりも強くなって、暮らしがもっと良くなっていこうと思う。

○出席者、参加者が例年役員や特定の方のみとなりがちなので、あり方を根本的に見直す必要があると思うが、参加したがいらない方に参加してもらうことは難しいので、何らかの工夫が必要。

また、地区健康づくり推進協議会さんとの共同開催で、最初に体操をして心と体をほぐしたのも和やかな雰囲気づくりにつながったと思います。



越路公民館の様子